



1日目、作業開始。商店街の人達が集ってくる。土にピートモスを混ぜ、プランターや樽に入れていく。パティオスタンドづくりは、思いのほか大変。そこに、大小・色合い・種類を計算しながら、通りに植える下準備をする。



2日目。花を植え終わったプランターや樽・パティオスタンドなどに植えた花をトラックで運び、通りに並べていく。男性の出番だ。どのように置けば通りが一番きれいに見えるか、その配置にも気がつく。



グラフ・えにわ



旧道の漁町商店街は『遊ingロード1番街』という愛称で親しまれ、夏は青空天国やすずらん踊りのメイン会場にもなる。そしてもう一つ『花の商店街』づくりも盛んだ。

商店街を自分たちの手できれいにしよう、お客さんに喜んでもらおう、元気な商店街にしよう、そんな思いで始まって、今年で6年目。

5月下旬、朝7時。商店街の人たちが集まって来る。プランター・バスケット・樽・パティオスタンドなどをつくり、出来上がったものを設計図通りに配置していく。早朝は少し辛い、作業の合間に妻と夫の会話がある。お隣との話が弾む。時々、大きな笑いが起こる。みんなが一つになる。

そうやって、今年も『花の商店街』ができあがる。



3日目。バスケットを運ぶ女性たち。それをつるす男性たち。花を持つ手にも、自然と笑みがこぼれる。通りに落ちた土をはきとって、いよいよ花の商店街の完成。

